

先週の水曜日に「下校時の安全確保について」というお手紙を持って帰ってもらいました。おうちの人と確認してくれたのでしょうか？最近、みなさんやおうちの人から不審者がいるという情報が学校に寄せられます。ですから、最近、先生たちが目立つ黄色のジャンパーを着て、見回りをしています。そこで、今日は2つお願いがあります。

まず1つ目です。お手紙にも書いていますが、みなさんが不審者だと言っている人は多くは、同じ人で何人かいます。先生も先日、そのうちの一人と直接お話をしました。また、その人を小さい時から知っている近所の人ともお話をしました。子どもたちが怖がっているので「声をかけるのをやめてくださいね」とお話をしたところ、「わかりました」と答えられましたが、実際にはわかってないと思います。でも、先生はその人がわからないことは、仕方のないことだと思います。誰もが努力をすればできるようになるわけではありません。中には努力をいくらしてもできない人もいます。どれだけ努力をしてもできないことがあるから障がいがあるということです。その人を知っている近所のおじさんが話してくれましたが、悪いことをする人ではないとのことでした。そうはいっても怖い人もいます。そういう人は近寄らないようにしましょう。いてると思ったら、方向を

変えて、違う道で帰るのも一つの方法です。話しかけられたら、「さよなら」と伝えて、その場をすぐ立ち去るのも一つです。無視をすると、挨拶をしたいと思っているので、逆についてくることがあるようです。身の危険を感じたら、誰でもよいので大人に助けを求めるようにしましょう。その一方でその人たちに対して、悪口を言ったり、おちょくったりする人がいると学校に連絡があったこともあります。障がい者の悪口を言ったり、おちょくったりする行為は人間として恥ずかしい行為です。絶対にやめてくださいね。

次に2つ目です。先生たちが見回りをしていて、気になることがあります。帰り道に寄り道をしたり、広がって道路を歩いたり、長い間おしゃべりをして帰りが遅くなったりということがたくさん見られます。これらの行為は全て安全であるとは言えません。朝、家を出てから家に帰るまでを安全に過ごすことが一番大切なことです。

- ・ 寄り道をしない。
- ・ 道路に広がらず、歩道や道の端っこを歩く。
- ・ 友だちと別れる時に、長くおしゃべりをしない。

これらのことを、しっかりと守っていきましょうね。